

## 「(仮称) これからの滋賀県立図書館のあり方」の策定について

### 1 策定の趣旨

県立図書館は、昭和55年の開館以来、利用者が求める図書資料の着実な提供と市町立図書館の支援を業務の中心に据えて取り組んできました。その間、県立図書館を取り巻く状況は大きく変化し、様々な課題に直面しています。

また、新しい出版の形態である電子書籍の動向など、今後の情報化社会の進展も視野に入れた県民への資料提供のあり方についても検討する必要があります。

こうした状況をふまえ、今後の10年を見据えた県立図書館のあり方を検討し、これからの県立図書館の姿を明確にします。

### 2 検討のプロセス

県民をはじめ、市町立図書館、県内大学、読書関係団体、有識者等多方面から意見を伺いながら、論点整理や、課題の洗い出し等を行い検討を進めます。

### 3 検討のスケジュール

H28年8月	県議会常任委員会 あり方検討の進め方説明
8月～	関係者、有識者からの意見聴取
12月	県議会常任委員会 経過報告
12月～	関係者、有識者からの意見聴取
H29年3月	県議会常任委員会 中間報告
9～10月	「(仮称) これからの滋賀県立図書館のあり方」策定